

平成 20 年度 高大連携・学問探検ゼミの成果ポスター発表会を開催しました

本学経済学部が選定された GP「学問探検ゼミを核とした高大接続教育」の中心事業である学問探検ゼミの成果ポスター発表会を 2009 年 1 月 27 日に大分雄城台高校にて開催しました。

平成 20 年後期に開講した本ゼミには、大分雄城台高校 2 年生 3 人と本学経済学部 2 年生 10 人が参加し、高大の教員各 1 名、本学経済学研究科院生 1 人が指導に当たりました。参加者は 3 つのグループに分かれて計 14 回のゼミ活動を行いました。

当日は、本学の宮町学長補佐および大分雄城台高校の甲斐校長の挨拶の後、各グループが経済学部の 3 つの学科（経済・経営システム・地域システム）で学べることを中心にポスターを使ってわかりやすく発表しました。発表後には各グループが別々の場所に陣取り、会場に集まった他の生徒や教員約 30 名との間で質疑応答を行いました。当初は緊張のためかやや堅いムードでしたが、場が和むにつれて活発なやりとりが行われ、「学びは高きに流れる」ことを実感する発表会となりました。

授業終了後にとったアンケート結果によれば、4 点満点の総合評価において、8 割の受講生が 4 点を、残り 2 割が 3 点をつけ、受講生の満足度が高いことがわかりました。

ゼミに参加した高校生は「知識が増えたうえ、自分の進路についてより明確になった。大学生が引っ張ってくれたので、雰囲気よく受けられた」、大学生は「高校生にも分かるように専門知識を説明するのが大変だったが、勉強を教えることが自分の勉強になった」と話していました。



成果ポスター発表会の様子



発表をする高校生



会場の様子



質疑応答をする学生たち